

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 内灘町立内灘中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 920-0271

石川県河北郡内灘町字鶴ヶ丘2丁目308番地

E-mail uchi-jh-kyoutou@educet04.plala.or.jp

Website http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~uchinj/NC2/htdocs/?page_id=13

幼児児童生徒数 男子 411名 女子 393名 合計 804名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

当校は、「持続可能な社会の担い手」を学校活動テーマとして、ESDを「生徒一人一人がこれからの社会をより良く生き抜くための現代社会の課題として捉え、身近なところから取り組む資質・能力の育成を目標とした。

具体的には、1. エコ活動を通して係わる活動 (①グリーンカーテン活動、②ペットボトルキャップ集め活動③太陽光エネルギー活動、④食育に係わる学習)、2. 個人探求課題に係わる学習、3. 学習指導要領等を踏まえた (各教科や道徳との横断的な) 学習を行った。

1. エコ活動を通して係わる活動

①グリーンカーテン活動

園芸委員会が、5月に技術室横の花壇にゴーヤを定植した。技術室は、東向きの部屋で、7～9月には強烈な朝日が差し込み、1限目から30℃を超える。しかし、グリーンカーテンが、熱をほとんど反射するため、グリーンカーテンができるころには、30℃を超えることがないことを生徒は実感している。また、技術科の教員が、節電 (エネルギー) の学習を行うことで相乗効果がみられる。

②ペットボトルキャップ集め活動

通年でペットボトルキャップ集めを行っている。特に、環境・福祉教育を兼ね、体育祭競技の1つとして実施している。今年度は、約510kg（約255人分のポリオワクチン）を集めることができた。

③太陽光エネルギー活動

本校には、太陽光発電のシステムが設置されており、毎日、発電力量（総発電力量、CO₂削減量）を見て、再生エネルギーの重要性を学習できる。

④食育に係わる学習

栄養教諭が、昼の放送や掲示、給食たよりを通して、伝統料理、食と健康、食の安全、国内や世界のつながり等について指導している。

2. 個人探求課題に係わる学習

3年の総合的な学習の時間の活動として、各自が「各企業の実践している地域貢献・環境・国際貢献・福祉」等について調べた。そして、優秀者は文化祭で、発表した。

3. 学習指導要領等を踏まえた（各教科や道徳との横断的な）学習

社会科「環境問題や環境保全、国際社会の諸課題」、理科「資源・エネルギー・科学技術」、保健体育「スポーツの意義」、音楽科「伝統音楽」、美術「伝統と文化」、技術・家庭科「エネルギー変換、生物育成、消費生活が環境に与える影響」、英語科「国際理解・国際協調」、道徳「郷土を愛する心」等のつながりを大切にしたカリキュラム・マネジメントを行っている。



1-① グリーンカーテン



1-② ペットボトルキャップ集め



1-③ 太陽光エネルギー活動



1-④ 食育に係わる学習



2 個人探求課題に係わる学習

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

■ 1. 環境	■ 2. エネルギー	■ 3. 防災	■ 4. 生物多様性
■ 5. 気候変動	■ 6. 国際理解、文化多様性	■ 7. 地域の伝統文化、文化遺産	■ 8. 人権・平和
■ 9. 健康・福祉	■ 10. 食育	■ 11. 持続可能な生産と消費	■ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

■ 1. 批判的に考える力	■ 2. 未来像を予測して計画を立てる力
■ 3. 多面的、総合的に考える力	■ 4. コミュニケーションを行う力
■ 5. 他者と協力する態度	■ 6. つながりを尊重する態度
■ 7. 進んで参加する態度	
□ 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

■ 1. 教科の時間	■ 2. 総合的な学習の時間
■ 3. 特別活動等	□ 4. クラブ活動
■ 5. その他(自由記述 体育祭、文化祭等の行事)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- 1 各企業のウェブサイト等
- 2 ユネスコスクール公式ウェブサイト
- 3 ユネスコスクールとESD 等

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- 1 学習指導要領に則り、年間計画に位置づけて実践している。特に、各教科とのつながりを意識した実践に重点を置いている。また、年度末には、教育課程を見直し、次年度の実践に生かしている。
- 2 各行事等における実践では、生徒活動部が中心となって運営委員会に提案し、組織的な取組になるようにしている。特に今年度は、各自が自己評価表を記入し、事前・事中・事後での学習の振り返りができるようにした。

③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクールとしての活動を年間指導計画に位置づけるとともに、各自の自己評価表（ワークシート）等を紙媒体及びデータとして保存している。また、年度末の引継ぎシートで組織的な引継ぎを図っている。

特に、生徒の課題（現状）を明確に捉え、生徒に身に付けさせたい力に何かを焦点を当てた実践を行っている。

④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- 1 学校評価アンケート、授業アンケート、取組毎の各自の自己評価表（ワークシート）をもとに評価を実施している。
- 2 自己評価表を活用することで、教師・生徒ともに身に付けさせたい力を意識した指導ができた。（成果）
- 3 教師が、課題設定の質や指導の質を高めていく必要がある。（課題）

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- 1 新聞社等への情報提供及び行政機関(内灘町)との連携を図っている。特に、ペットボトルキャップ集めでは、内灘町環境安全課と連携して情報発信を行った。(発信方法)
- 2 内灘中学校ホームページで活動の様子を伝えている。(発信方法)
- 3 新聞は地域へ、ホームページは保護者等に活動の様子を知っていただくよい機会となっている。(効果)

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

ユネスコスクール公式ウェブサイトのESD実践事例を通して、「課題の発見」「課題の質の向上」「ESDカレンダー」「発信力・表現力の育成」「SDGsが掲げる17の目標(課題)を基に、ESD活動に新たな意義や価値付けを行う」等、本校の実践の参考にさせていただいている。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールウェブサイトを活用し、各学校の交流方法の例を参考に学習を行っている。また、国内のユネスコ関係機関(ユネスコアジア文化センター、日本ユネスコ協会連盟等)の内容から学んでいる。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

1. 高学年ほど世界に目を向け、多面的・多角的に考える力が身に付いている。
2. 書くことや話し合うことに抵抗感がなくなり、お互いに学び合い・高め合う学習を通して個々の表現力が高まった。
3. 教師の「つなぐ・広げる・深める」働きかけ(発問力)が、ブラッシュアップされてきている。

(3) 平成30年度の活動計画(200～400字程度)

1. エコ活動を通して係わる活動
 - ①グリーンカーテン活動
ゴーヤのグリーンカーテンを通した、節電(エネルギー)の学習
 - ②ペットボトルキャップ集め活動
ペットボトルキャップ集めを通した環境・福祉教育
 - ③太陽光エネルギー活動
再生エネルギーの学習
 - ④食育に係わる学習
伝統料理、食と健康、食の安全、国内や世界のつながりの学習
2. 個人探求課題に係わる学習
地域貢献・環境・国際貢献・福祉等の調べ学習
3. 学習指導要領等を踏まえた(各教科や道徳との横断的な)学習
各教科・道徳・学校行事等の教育課程を通したカリキュラム・マネジメント